



射幸性の抑制に向けた取り組み

みなし機の撤去(全国理事会決議)

平成31 令和1年 令和2年 令和3年

令和1年12月31日まで撤去

(注) 当該みなし機は、改正規則施行(H30/2/1)前に営業所に設置されている認定機の有効期限切れのみなし機であって、ぱちんこ機は、大当たり確率1/100以上(アマデジ・ハネモノ含む)、スロット機は、ノーマルタイプの遊技機。その他のみなし機を営業所に設置してれば行政処分の対象(検定、認定の有効期限が切れれば撤去、みなし機として継続はX)

高射幸性回胴式遊技機の設置比率

※ 平成31年1月31日までの設置台数の15%以下は延期のまま

5%以下 令和2年1月31日まで

0% 令和3年1月31日まで

2月1日規制(新基準機入替)

風営適正化法施行規則(改正)  
 遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則(改正)

広告・宣伝の【自主規制】

本組合において、本年7月1日から取材等の広告・宣伝に係る自主規制実施しました。

【ライター取材、雑誌取材、有名人等の来店イベント等の告知を禁止!】

業界に自浄機能がなければ、警察当局は...?

等価是正【自主規制】に向けて..

業界の等価是正は、消費税8%への増税(2014年4月)の機会に合わせ、全国各都道府県の約半数の地域が実施し、2015年11月に東京都遊協が実施に踏み切ったことで、再び全国での機運が高まりました。

等価是正については、低射幸性へと向かう中、いずれ解決しなければならない問題なのです。業界に自浄機能がないと、警察当局は規制を強化(規則改正)、また取り締まりの強化を徹底するなどの可能性があります。

本組合も県警から射幸性の抑制に関し強い要請を受けており、この問題を理事会・支部会等で熟議を重ね、本年10月の消費税増税に合わせて全国的な基準の等価是正を決定したいと考えています。何卒、ご協力お願いします。

和歌山県:IR誘致目指し

ギャンブル等依存症対策

パチンコ依存症対策を要請

和歌山県警

総合型リゾート(IR)のカジノ併設に伴うデメリットとして、県民の多くが懸念しているのはギャンブル依存症です。和歌山県では、このIRの誘致を目指し、特にギャンブル依存症対策に力を入れています。

ギャンブル依存症対策基本計画

昨年10月ギャンブル等依存症対策法が施行され、今年4月19日、ギャンブル等依存症対策を推進する基本計画が閣議決定されました。

依存問題=県民から厳しい視線が..

基本計画では、パチンコ業界が自主的に取り組むべき対策が定められました! !

1 広告・宣伝の在り方

- 広告・宣伝に関する全国的な指針の策定
- パチンコへの依存問題の発生の抑止につながる知識の普及啓発の推進

2 アクセス制限

- 自己申告プログラムの周知徹底、本人同意のない家族申告による入店制限の導入等の推進
- 18歳未満の可能性があると認められる者に対する身分証明書による年齢確認の原則化

3 施設内の取組み

- パチンコ営業所のATM及びデビットカードシステムの撤去等の推進
- 出玉規制を強化した遊技機の普及、出玉情報等を容易に確認できる遊技機の開発・導入

4 相談・治療につなげる取組み

- 自助グループをはじめとする民間団体等に対する経済的支援
- パチンコへの依存症問題に詳しい専門医等の紹介
- リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)の相談体制の強化及び機能拡充のための支援

5 依存症対策の体制整備

- 「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」による依存防止対策の強化
- パチンコへの依存防止対策に係る実施規程の制定
- 業界の取組について評価・提言を行う第三者機関の設置
- 第三者機関(一般社団法人 遊技産業健全化推進機構)による依存防止対策の立入検査
- パチンコ営業所の管理者の業務に関する運用状況の確認とその改善